

令和３年度京都府立園部高等学校附属中学校使用教科用図書一覧

令和３年度から使用開始

教科・種目	発行者	教科書名
国語	光村図書	国語
書写	光村図書	中学書写
社会(地理的分野)	帝国書院	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
社会(歴史的分野)	帝国書院	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き
社会(公民的分野)	帝国書院	社会科 中学生の公民 より良い社会をめざして
地図	帝国書院	中学校社会科地図
数学	振興出版社啓林館	未来へひろがる数学
理科	振興出版社啓林館	未来へひろがるサイエンス
音楽(一般)	教育芸術社	中学生の音楽
音楽(器楽合奏)	教育芸術社	中学生の器楽
美術	日本文教出版	美術
保健体育	東京書籍	新しい保健体育
技術・家庭(技術)	東京書籍	新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology
技術・家庭(家庭)	開隆堂出版	技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生
英語	三省堂	NEW CROWN English Series
特別の教科 道徳	光村図書	中学道徳 きみが いちばん ひかるとき

京都府立園部高等学校附属中学校 令和３年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
国語	国語	38	光 村	3領域を相互に関連させながら、基礎的・基本的な内容の定着や思考力、判断力、表現力等の育成を系統的・発展的に図る教材の取り扱い、古典作品や資料においても高等学校との関連について検討し、本書が適切であると考ええる。 ◇基礎的・基本的な内容の定着を図る教材や思考力、判断力、表現力等の育成を図る教材 ・「学習の窓」や「学習」を効果的に配置し、学習の見通しをもたせている。【別表２】 ・情報活用や「広がる読書」「読書案内」等、読書と関連した教材が豊富である。【別表１】 ・資料編「三年間の言葉の力を確かめよう」に他教科に生かせる言葉の力を一覧に示すなど、多様な言語活動を取り上げている。【別表３・６】 ◇伝統的な言語文化に関する教材 ・古典教材が豊富で、資料や写真を掲載し、古典の世界を紹介している。「音読を楽しもう」や「季節のしおり」を設け、古典特有の美しい響きや日本人特有の感性に触れられるよう工夫している。【別表１・７】 ◇高等学校との関連 ・発展的な学習について、「文語の活用」「古典・近代文学の名作」等、高等学校との関連を図る教材を取り上げている。【別表５】
書写	中学書写	38	光 村	書写においては、１・２年生では主に硬筆を、３年生では毛筆を中心としたカリキュラムを編成し、高校の芸術（書道）の内容の一部を中学校で実施しているため、伝統的な文字文化に関する内容や社会生活と関連した内容の取り扱い、高等学校との関連について検討し、本書が適切であると考ええる。 ◇国語及び他教科、「総合的な学習の時間」に関連する教材の取扱い ・国語科との関連を図り、現代文や古典の一部、詩歌等、興味・関心の高まる教材を取り扱っている。【別表１】 ・総合的な学習の時間や特別活動で生かされる書式や効果的な表現について紹介している。【別表６】 ◇伝統的な言語文化に関する教材 ・書写ブックを新設し、毛筆での学習が硬筆に生きるように工夫されている。【別表１】 ◇社会生活と関連した内容の取扱い ・各教科等の学習場面や社会生活において役立つ書写の教材が豊富であり、学習した書写力を活用する場の具体例があり、身の回りの筆文字についても考えさせるように看板や石碑などの写真も豊富である。【別表４】 ◇高等学校との関連 ・優れた先人の書の紹介を通して、高校での「書道」の古典臨書学習への道筋をつけている。【別表５】

京都府立園部高等学校附属中学校 令和３年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
地理	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	4 6	帝国	社会（地理的分野）では、地理的な知識及び技能や思考力、判断力、表現力等の育成などに関する教材の取扱い、中高一貫教育との関連について検討し、本書が適切であると考えます。 ◇地理的知識及び技能の育成 ・地図の作図や読図、資料の読み取りなど、地理の基礎的な技能を身に付けさせる工夫がある。 ・学習内容を整理・確認するためのページが設けられ、基礎的・基本的知識の定着が図られる。【別表２】 ◇思考力、判断力、表現力等の育成 ・各単元に「確認しよう」「説明しよう」を設け、学習内容の定着や言語活動の充実への工夫が見られる上に、各章・節ごとに「学習を振り返ろう」のページを設け、地理的事象を多面的・多角的に捉え、地理の知識や技能を用いて思考・判断し、表現する力を育成する工夫がある。【別表３】 ◇中高一貫教育との関連 ・「人権教育」「防災」「グローバル化」「SDGs」「環境教育」にも適切に触れられているため、他の教科と関連付けて学習する際に適切な資料等が掲載されており、系統的な知識の学習を基本とし、各分野の学習に他分野、他教科の学習内容を導入している同校には適当である。

京都府立園部高等学校附属中学校 令和3年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
歴史	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	4 6	帝 国	教育基本法及び学習指導要領社会科（歴史的分野）の目標「社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を培う。」に従って、三つの資質・能力、主体的・対話的で深い学びを重点として構成し、学習指導要領に示された内容を習得できるように、小学校の内容との系統性を図りながらバランス良く選択・配列している。同校の中高一貫教育のねらいに鑑み、本書が適切であると考え。 ◇基礎的・基本的な知識及び技能の習得と定着【別表2】 歴史学習の導入で、歴史の流れのまとめ方、時代区分・年代の表し方を説明し、各見開きと共に、小学校の学習内容との関連を示している。単元の導入で、大きなイラストを提示し、時代の特色を視覚的にとらえ、単元末では導入を振り返って関連付け、年表や図でまとめたりしている。基礎的・基本的な知識及び技能の習得のため、他分野との関連を記号で示し、我が国の歴史にかかわる世界の出来事を適切に取り扱っている。各時代を大観するイラストや各種資料を効果的に配置し、資料を読み取る視点を示している。 ◇思考力、判断力、表現力等の育成【別表3】 章の問い、節の問い、見開きの学習課題を構造化して設定し、単元を見通して思考・判断・表現する活動ができるようにしている。各章末では、年表や資料を用いて各時代のようなすを整理・取得させ、例示された言語活動を通して、思考力、判断力、表現力等の育成を図ろうとしている。 ◇生徒が主体的に学習に取り組むことができる配慮【別表4】 生徒の興味・関心を高めるために、「未来に向けて」など多くのコラムを配している。部末には学習を深める自主学習・自由研究を設定している。また、書き込み等の作業的ページもあり、自ら学習できるよう工夫している。 ◇中高一貫教育との関連【別表1】 我が国の文化の学習に関連する教材を豊富に取り上げるとともに、高等学校地理歴史科「世界史」学習への動機付けとなる配慮がある。中高一貫教育校である同校の中学校社会科では、系統的な知識の学習を基本とし、地理・歴史・公民各分野、他の教科との関連性を重視している。そのために各分野の学習に他分野、他の教科の学習内容を導入している。本書では豊富な写真・地図資料とともに現代社会への展望にも配慮されており、「道徳教育」「人権教育」との関連性を重視する学習に適切である。このように3分野を共通の発行者のものにすることで3年間の系統立てた指導が可能になるとともに、高等学校で使用されている教科書との関連性も深め、6年間を見通した学習内容の適切さ・3年間の系統性において、同校の実態に即していると判断できる。

京都府立園部高等学校附属中学校 令和3年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
公民	社会科 中学校の公民 よりよい社会をめざして	4 6	帝国	教育基本法及び学習指導要領社会科（公民的分野）の目標「現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を培う。」に従って、三つの資質・能力、主体的・対話的で深い学びを重点として構成し、学習指導要領に示された内容を習得できるように、小学校の内容との系統性を図りながらバランス良く選択・配列している。同校の中高一貫教育のねらいに鑑み、本書が適切であると考え。 ◇基礎的・基本的な知識及び技能の習得と定着【別表2】 歴史的分野との接続も考慮しながら、私たちの生きる現代社会について高度経済成長期以降の社会的事象を適切に取り上げている。また、基礎的・基本的な知識及び技能の習得と定着を図るため各章末の「章の学習を振り返ろう」に課題を設定し、学習内容の定着を図る工夫をしている。さらに、折り合いをつけることに関して、具体的な6事例を取り上げている。 ◇思考力、判断力、表現力等の育成【別表3】 单元ごとにめあてとなる課題を設定し、さらに深める課題も設定している。社会的事象を多面的・多角的に考察し、表現力を充実させる工夫として具体的な事例をあげている。表現活動の充実への工夫として、ロールプレイングの方法やディベートを深める手法などを紹介している。 ◇主体的・対話的な学習【別表4】 生徒が主体的・対話的に学習できるように、「アクティブ公民」や「技能をみがく」で課題を設定している。また、様々な題材のコラムで、興味・関心を高めるよう工夫している。 ◇地理・歴史的分野との関連【別表5】 該当するページに、「小学校・地理・歴史を振り返る」として、他分野で学習してきた語句を振り返る工夫をしている。巻末に「第二次世界大戦後の歩み」の資料を掲載し、現代史と関連させて振り返る工夫をしている。さらに、道徳科との関連については、主として集団や社会とのかかわりに関する内容を取り扱っている。 ◇中高一貫教育との関連【別表1】 同校の社会科では、系統的な知識の学習を基本とし、地理・歴史・公民各分野、他の教科との関連性を重視していることから、各分野の学習に他分野、他の教科の学習内容を導入している。本書は写真や資料などが豊富であり、「道徳教育」との関連性を重視する学習に適している。また、巻末には高等学校での学習への動機付けに配慮され、3分野を共通の発行者のものとすることで3年間の系統立てた指導が可能になるとともに、高等学校で使用されている教科書との関連性も深め、6年間を見通した一貫した指導を目指している点からも適していると考え。

京都府立園部高等学校附属中学校 令和３年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
地図	中学校社会科地図	4 6	帝国	地図では、社会科における知識及び技能や思考力、判断力、表現力等の育成などに関する教材の取扱い、中高一貫教育との関連について検討し、本書が適切であると考えます。 ◇社会科における知識及び技能の育成 ・地図の活用について、記号凡例、地図帳の構成、調べ方地域の特色を調べるポイントを掲載している等、使い方をわかりやすく解説されている。【別表２】 ・地図の読み取りなど地図の活用に関する技能を身に付けさせる工夫や、また、地域の特色を偏らずに理解できるように資料の選定がされている。【別表２】 ◇思考力、判断力、表現力等の育成 ・主題図、分布図などを適宜掲載しているとともに、学習内容を明記することによって、社会科としての見方・考え方が身に付くように配慮されている。【別表３】 ◇中高一貫教育との関連 ・系統的な知識の学習を基本とし、各分野の学習に他分野、他教科の学習内容を導入している同校には、地理分野の情報だけでなく歴史的分野や公民的分野の国際社会など社会科全般に活用できる情報が盛り込まれており、関連性を重視している本書は適切である。

京都府立園部高等学校附属中学校 令和3年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
数学	未来へひろがる数学	6 1	啓林館	数学では、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、基礎的・基本的な内容の習得を図るための配慮、思考力、判断力、表現力等の育成を図るための配慮、生徒が見通しを持ち、主体的に学習に取り組むことができる配慮、高等学校との関連について検討し、本書が適切であるとする。 ◇基礎的・基本的な内容の習得を図るための配慮 ・本文中に学習のポイントが記載されており、注意すべき点が見やすくなっている。また、「ふりかえり」も本文中に設けられており、既習事項を確認し、未定着の内容の学び直ししやすいよう工夫されている。【別表2】 ・巻末に、本文の問いに対応した「もっと練習しよう」が設けられており、知識及び技能の定着を図るための工夫がある。【別表2・3】 ◇思考力、判断力、表現力等の育成を図るための配慮 ・「説明しよう」では自分の考えを表現する活動、「話し合おう」ではいろいろな考えを話し合いひろげる活動、「まとめよう」では学んだ内容を振り返ったりまとめたりする活動が設定されており、解答を出すだけでなく、自分の考えをまとめて論理的に述べる力を育成する工夫がある。【別表3】 ◇生徒が見通しを持ち、主体的に学習に取り組むことができる配慮 ・各章や節の導入において、身の回りにあるものや実生活と関係することがらから学習内容につなげることで、生徒が見通しを持って活動的に学習に取り組むとともに、学ぶ良さを感じるための工夫がある。【別表4】 ・教科書が「みんなで学ぼう編」と「自分から学ぼう編」の二編で構成されており、「自分から学ぼう編」では自らの興味や学習状況に応じて問題を選ぶことができる工夫がある。【別表4】 ◇高等学校との関連 ・各章の「数学ライブラリー」でその章で学んだことがらにまつわる話を取り上げたり、「自分から学ぼう編」の「学びをいかそう」で発展的な内容を取り上げたりしており、高等学校で学習する内容へ無理なく深化できるよう工夫がなされている。【別表5】

京都府立園部高等学校附属中学校 令和3年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
理科	未来へひろがるサイエンス	6 1	啓林館	理科では、基礎的・基本的な内容の定着とともに、思考力、判断力、表現力等の育成を図るための教材の取扱い、さらに中高一貫教育との関連について検討し、下記の理由により本書が適切であると考えます。 1 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。 例題や基本のチェック・学習のまとめなどが構成されており、基礎的・基本的な知識及び技能の定着が図られており、また、観察・実験では大まかな流れをフローチャートで示し、概念を把握しやすくするよう工夫している。 発展的な学習においては、探Qシートを用いて課題の把握・追求・解決の流れをつくり、思考する力と探究する力の育成ができるよう工夫していると共に、興味・関心を引く内容を盛り込み、学習をより深められるよう工夫している。 また、生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができるように、各単元のはじめに「単元のねらい」や「ふり返し」を設定し、目的意識をもって学習ができるような工夫や、二次元コードを用いたコンテンツを利用でき、家庭においても学習が深められるよう工夫している。【別表2】【別表3】【別表4】 2 使用上の便宜が工夫されていること。 資料としても使えるようカラー写真を多く使用している。さらに、二次元コードを用いたコンテンツの利用が可能になっている。【別表7】 3 中高一貫教育と関連していること。 小学校での既習事項の整理を図り、発展的な内容では補足説明があるなど、高等学校への接続にも配慮がされている。また、探究力を育て、高めることができるよう構成し、探究する学習活動を通して資質、能力が向上できるように工夫している。それらは、学校独自の学習として設置している「クリエーション理科」の「ものを発見・探究する活動、原理や法則を学び見つけ出す力を育成」することを目標としており、エネルギー関連施設、バイオ関連施設の訪問等に関係する教材もあり、発展的な学習とリンクさせやすいものとなっている。【別表5】【別表6】

京都府立園部高等学校附属中学校 令和3年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
音楽 一般	中学生の音楽	27	教芸	教育基本法及び学習指導要領音楽科の目標に従って、生活や社会の中の音や音楽との関わり、三つの資質・能力、主体的・対話的で深い学びを重点として構成し、学習指導要領に示された内容を習得できるように、小学校の内容との系統性を図りながら2領域4分野をバランス良く選択・配列している。我が国の伝統文化や諸外国の文化の理解を重視した中高一貫校としてのねらいに鑑み、本書が適切であると考え。 ◇学習指導要領の目標達成のための工夫【別表1・2】 ・1年間の学習内容と三つの資質・能力との関連を「学びの地図」でマトリックス表で示し、学びの見通しを持つことができるよう構成を工夫している。また、全教材の左端に目標及び音楽を形づくっている要素を示し、知覚と感受の関わりを考えることができるよう紙面を工夫している。 ・音楽と生活、社会、文化等とのつながりや音楽の価値を考える題材を「音楽って何だろう」「生活や社会の中の音楽」等で巻頭に示し、社会とつながりの視点を全体に配置している。 ◇主体的・対話的で深い学びに対応した工夫【別表3・4】 ・教師役のキャラクターによる課題提示や助言、生徒役のキャラクターによる疑問や気付き等の吹き出しを随所に配置し、思考力、判断力、表現力等の育成を図り、主体的な課題解決のきっかけとなるよう工夫している。また、「深めよう！音楽」で歌唱分野の表現の工夫や、鑑賞分野の曲想と音楽の構造との関わり等についての考えを書き込むワークシートを提示しながら、対話的に学ぶ活動例を示している。 ◇我が国や郷土の伝統的音楽及び諸外国の音楽など幅広く掲載している。【別表1・6】
音楽 器楽	中学生の器楽	27	教芸	教育基本法及び学習指導要領音楽科の目標に従って、生活や社会の中の音や音楽との関わり、三つの資質・能力、主体的・対話的で深い学びを重点として構成し、学習指導要領に示された器楽分野等の内容を習得できるように器楽教材を精選しながら、小学校の内容と系統性を図り、奏法を写真等でわかりやすく示しながら、教材を基礎技能から難易度順に配列し、主体的な学びに対応できる構成となっている。特に、和楽器は口唱歌を唱いながら技能が身に付くよう、楽譜に口唱歌を添えている。また、音楽一般の教材と関連させた教材も多く、表現と鑑賞を一体的に学べるよう工夫している。器楽分野の思考力、判断力、表現力等の育成を図る手立てが工夫され、我が国の伝統文化や諸外国の文化の理解を重視した中高一貫校としてのねらいに鑑み、本書が適切であると考え。 ◇学習指導要領の目標達成のための工夫及び基礎的な技能を身に付けることができる適切な教材配置【別表1・2】 ・1年間の学習内容と三つの資質・能力との関連を「学びの地図」でマトリックス表で示し、楽器をリコーダーから、ギター、箏（こと）、三味線、太鼓、篠笛、尺八、打楽器、アンサンブルの順に配列し、奏法を写真等でわかりやすく示し、教材を難易度順に配列している。 ◇主体的・対話的で深い学びに対応した工夫【別表3・4】 ・「深めよう！音楽」で曲の構成やパートの役割を考え、対話的に学ぶ活動例を示している。 ◇我が国の伝統文化や諸外国の文化の理解を重視した中高一貫校のねらい【別表1・6】 ・各和楽器奏者からのメッセージや楽器を演奏する姿勢や奏法、礼儀作法など、背景となる文化・歴史等について幅広く掲載している。

京都府立園部高等学校附属中学校 令和３年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
美術	美術	116	日文	美術では、指導内容のバランス、基礎的な内容の習得と思考力、判断力、表現力等の育成を図る題材や資料の取扱い、生徒の主体性や学習意欲を喚起する配慮について検討し、本書が適切であると考ええる。 ◇指導内容のバランス ・学習指導要領の目標に基づいた内容を取り上げながら、題材を「絵画・彫刻」と「デザイン・工芸」の視点及び表現と鑑賞の視点から分類して示し、巻頭に「オリエンテーション」、巻末に「学びを支える資料」の内容を取り上げている。全般にわたり表現や鑑賞の多様な題材で構成されており、資質・能力を相互に関連させながら育成できるよう工夫されている。また、表現と鑑賞を一体的に学習できるよう構成されている。【別表１】 ◇基礎的な内容の習得と思考力、判断力、表現力等の育成を図る題材や資料の取扱い ・各題材で「造形的な視点」が示され、発想や構想したり鑑賞したりする際にヒントとして活用できる。また、図版には「作者の言葉」や作品解説を付けて表現の意図と工夫が分かるよう配慮されている。言語活動を促す問いかけ、「造形的な視点」で思考する問いかけ、表現と鑑賞に共通する視点を基に思考する問いかけを示している。【別表２・３】 ・アイデアスケッチや制作過程、学習過程の事例が示され、思考の流れが分かるよう配慮されている。【別表３】 ◇生徒の主体性や学習意欲を喚起する配慮 ・美術１の巻頭で図画工作の振り返り、各冊子で学習の見通し、巻末で形や色、材料や用具などの扱いについて確認できる内容を取り上げ、二次元コードでさらに情報を得ることができ、学習意欲を高めるとともに、主体的に学習できるよう配慮されている。【別表２・４・７】 ・生活や社会の中の美術や美術文化、美術の働きを実感できる題材が多く取り上げられている。【別表４】

京都府立園部高等学校附属中学校 令和3年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
保健 体育	新しい保健体育	2	東 書	学習指導要領に定められた目標に従い、系統的に学習を進めていくことができるように配列を工夫している。各章ごとに小学校で学習したことや高校で学習することを関連づけて示している。従って、中高一貫校の特色ある教育を推進するには、本書が適切であると考え。 ◇基礎的・基本的な内容の定着とその内容の深化を図る教材の取扱い 「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」の流れに沿って学習を進めることで、基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるように工夫している。また、各章末の「確認の問題」では、知識の習得状況を確認することができるように配慮している。【別表1・2】 ◇思考力、判断力、表現力等の育成を図り生徒が主体的に学ぶ教材 「見つける」「活用する」「広げる」では、それぞれのステップに応じて思考力、表現力、判断力等の育成を図るような内容が設定されており、生徒の主体的で深い学びを引き出すことができる。また、生徒の興味・関心が高められるような図や挿絵等の工夫がされている。【別表3・4】 ◇高等学校との関連 日常生活において健康に過ごすための実践力を育成するため、中学生の興味・関心が深いテーマや、今日的課題を取り上げている。また、「読み物」では時事的な内容や実際の体験などから考えさせることのできる内容が充実しており、現代社会との関連も図られている。【別表5】

京都府立園部高等学校附属中学校 令和３年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
技術	新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る technology	2	東 書	学習指導要領に定められた目標に従い、系統的に学習をすすめていくことができるように配列を工夫してある。基礎的・基本的な内容から実践的体験的内容まで、今日の課題を積極的に取り上げることで、実生活を工夫し創造する能力と実践的な態度につながるように工夫されている。 ◇基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮 ・問題解決の流れを図示することでわかりやすく工夫しており、基礎的な学力が定着するような構成とねらいが見られるとともに、安全面にも配慮された構成になっている。【別表１】【別表２】 ・実習例を多数扱い、学習した内容の活用や実生活との関連について配慮された内容となっている。【別表４】 ・専門的用語については、用語解説を掲載するなどの工夫されている。【別表７】 ◇思考力、判断力、表現力等の育成を図るための配慮 ・プログラミング手帳や、技術の歴史等の掲載があり、思考力や判断力を養う工夫がなされている。全体的には、科学的な知識などを踏まえ、弾力的な指導計画ができる構成になっている。【別表３】 ・写真や挿絵、図表などが豊富にあり、環境問題についても十分に配慮された内容となっている。【別表３】 ・学習のまとまりごとに目標を明示し、見通しをもった学習活動の展開ができるように工夫されている。具体的な問題を解決するプロセスを繰り返し学習することにより、生徒個々の発達段階に対応できるように配慮されている。【別表３】 ◇学習指導要領に示していない内容の取り扱い ・技術の見方・考え方や技術の最適化等、創意工夫の観点から興味関心をもたせる資料や写真が導入部分にたくさんあり、これからの社会について考えさせる視点も工夫して掲載されている。また、技術の匠や、技術のとびら等学習を深めるページやコラムがあり、技術の全領域に関して十分な資料と写真等も掲載されている。【別表５】

京都府立園部高等学校附属中学校 令和３年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
家庭	技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生	9	開隆堂	技術・家庭（家庭分野）では、基礎的・基本的な知識及び技能の習得、思考力、判断力、表現力等の育成を図り、生徒が主体的・対話的に学習に取り組む教材の取扱い、学習意欲の向上や中学校・高等学校の体系化について検討し、本書が適切であると考え。 ◇学習指導要領に示す目標達成のための工夫 ・技術・家庭（家庭分野）で学習する内容について、３年間を見通した学習イメージを持たせ、相互の関連を示して、総合的・体系的に学習できるような工夫がある。【別表１】 ◇基礎的・基本的な知識及び技能の習得 ・基礎的・基本的な知識及び技能の習得できるよう、実習や調査等の体験的な学習例ごとに複数ページを使って解説し、生徒が主体的に学習できるような工夫がある。【別表２】 ◇思考力、判断力、表現力等の育成を図り、生徒が主体的・対話的に学習に取り組む教材 ・生徒が生活課題を見つけ、持続可能な社会を考えることのできるための工夫がある。自宅で体験することができる実習例も多く、課題解決的な学習を充実させるための工夫がある。【別表２・３・４】 ・体験的な学習や、主体的・対話的な学習に関する教材が豊富であり、生徒の思考を深めさせ、言語活動を充実させる工夫がある。【別表３・４】 ◇学習意欲の向上や中学校・高等学校の体系化 ・学習の見出しとともに、学習の目標を示したり、生徒の考えを引き出すような問いかけをしたりするなど、生徒の目的意識を明確にさせる工夫がある。【別表３】 ・発展的な内容を取り上げ、生徒の関心や意欲を高め、高等学校の学習や他教科の学習とつなげる工夫がある。【別表５・６】 ・写真や資料、脚注、豆知識が多く、幅広い知識や情報を提供している。【別表７】

京都府立園部高等学校附属中学校 令和３年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
英語	NEW CROWN English Series	1 5	三省堂	英語では、全体としての特徴や創意工夫、基礎的・基本的な内容の定着を図るための配慮及び思考力、判断力、表現力等の育成を図るための配慮、生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮について検討し、本書が適切であると考えます。 ◇全体としての特徴や創意工夫 ・学習指導要領の示す目標に従い、コミュニケーション能力の基礎を養うために、単元構成を工夫し、単元ごとの学習到達目標を明確に示している。小学校との接続のための工夫や学習した内容を統合して活動する工夫、即興で伝え合う工夫を取り入れている。【別表１】 ◇基礎的・基本的な内容の定着を図るための配慮及び思考力、判断力、表現力等の育成を図るための配慮 ・４技能５領域をバランスよく育成するように配慮している。【別表２】 ・小单元ごとに、基本文について４技能５領域を用いた基本的な活動を行っている。また、主要単元で複数の技能・領域を統合的に活用した自己表現活動を設定している。【別表２】 ・基礎・基本の習得から、基礎的な力を活用して長文を読んだり、話したり書いたりする活動まで、段階を追って学習できるよう工夫している。【別表３】 ◇生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮 ・学習の見通しを持ったり、学習内容を振り返ったりする工夫をしている。また、聞いたり読んだりしたことについて、意見を述べ合うなどの力が育成できる構成となっている。【別表４】

京都府立園部高等学校附属中学校 令和3年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
特別の教科 道徳	きみが いちばん ひかるとき	38	光村	道徳科では、学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること、内容や構成が学習指導要領を進める上で適切であること、使用上の便宜が工夫されていることについて検討し本書が適切であると考え。 - 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること - 全体としての特徴や創意工夫 教材は、本校の生徒の実態に即した現代的課題や生徒の興味・関心を引き出す題材を幅広く取り扱っている。 - 内容や構成が学習指導要領を進める上で適切であること - 道徳的諸価値についての理解を深めるための工夫 それぞれの内容項目について、生徒たちが「自分のこと」として捉え、道徳的価値について深く考えさせる内容のことが多い。また、「考え、議論する」道徳科になるように、問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な活動を取り入れてあり、授業の展開がイメージしやすい。 - 物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深めるための工夫 生命の尊さを直接的、間接的に扱った題材が豊富で、正義感や友情など豊かな心を3年間継続して育むための多様な教材を取り上げている。 教材配列は、関連する内容項目が有機的に結びつくように工夫がされており、年間を通して計画的に学びを深めることができるような構成になっている。 - 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮 学年ごとにテーマを設け、それぞれのテーマについて、多面的・多角的に考えられるように工夫されている。 - 情報モラルと現代的な課題などの題材の取扱い いじめ問題や、環境、国際理解、共生など、生徒に考えてほしい「現代的な課題」について、教材と結びつけて考えられるように工夫されている。 - 他教科との関連 「つなげよう」のコーナーで、他教科や日常生活とのつながりや、関連する図書や他教材の紹介がされ、道徳教育の充実を図ることができると思う。 - 使用上の便宜が工夫されていること - 表記・表現の工夫 全編を通して見やすい配色になっている。文字の書体・大きさも読みやすい。ユニバーサルデザインにも配慮されている。

